

福沢小学校 学校だより

まなびや



校舎の横断幕

令和3年10月



千津島の酔芙蓉

福沢小学校 開校120周年 10月19日(火)

去る10月19日に、福沢小学校は開校120周年を迎えました。福沢小学校は、明治34年10月19日、今から120年前に善福寺を仮校舎として、児童数276名で始まりました。その後、昭和の時代になって新校舎ができたことにより、昭和62年に木造の旧福沢小学校の校舎の一部は、「丸太の森」という森の中に移されています。また、約140年前、すでに有名な教育者であった福沢諭吉先生が、千津島にある「天福寺」の大島住職と親しくされていて、幾度となくこの地を訪れたことから、村名と小学校名に、福沢諭吉先生の姓である「ふくざわ」をいただき、福沢小学校という校名になったと言われています。今も学校の中庭にある福沢諭吉先生の胸像は、子どもたちの成長を優しく見守っています。開校記念日の当日の朝、登校してくる子どもたちにも一目でわかるような大きな横断幕が管理棟の2階に掲げられ、「今日は、福沢小学校の誕生日だ!」と話す子どもたちの声が聞こえてきました。福沢小学校では、これまでに5908名の卒業生を送り出しています。そのうちの一人、今から40年以上前に卒業したある児童の卒業文集が、ふと目に留まりました。その児童は、旧福沢小学校の校舎で3年生まで学んでいた子でした。卒業文集では、「いつか大きくなって旧校舎を懐かしく思い出すだろう。そして新校舎に恥じない立派な生徒になるよう努力をしていきたい。」という決意を語っていました。あの作文の子は、今どこで何をしているのでしょうか。福沢小学校で仲のよかった友だちや学び舎での楽しい思い出を胸に、福沢小学校を誇りに思いながら、お元気に過ごしていられたら嬉しいです。たくさんの卒業生やこの学び舎で教えてきた教職員、温かく支えて下さった保護者や地域の皆さんが、この学校の土台をしっかりと築いてきて下さいました。そのことに心から感謝したいと思います。そして、これまでの「伝統」「歴史」を引き続き積み重ねていき、さらに福沢小学校をよりよい学校にしていきたいと思っています。



中庭の諭吉先生の胸像

学校保健委員会 「福沢っ子は、“今”〜どう付き合う?メディアと健康〜

学校保健委員会は、昨年はコロナウイルス感染拡大のため、中止となりましたが、今年度の学校保健委員会は10月19日(火)に行われました。これは、例年、各校で実施する行事の一つであり、「学校保健に関する情報や問題点を収集し、これについて検討・分析をし、その実践に向けて研究協議をし、円滑な運営のために必要な連絡・調整を行う」ことを目的としています。

今回は、足柄台中学校区スクールカウンセラーの内海美智子さんから「HELP!今からでもできることは?」をテーマに、6年生の児童に向けて、ネットやゲームの依存症にならないよう、メディアへの適切な関わり方についてお話をいただきました。さらに、渡邊養護教諭からは、児童への生活アンケート結果とその分析、児童保健委員会からは、動画による「ルールを決めて、守ること」の呼びかけ等、子どもたちが健康的な生活について考える良い機会となりました。また、各家庭でも、子どもたちとのルールづくり等、依存症に陥らないよう未然防止対策に取り組んでくださいますようお願いいたします。



福小運動会 10月30日(土) テーマ「コロナにまけるな!401人のちからをあわせて〜」



2学期がスタートして2週間が過ぎました。朝晩が冷え込み、起きるのがつらい今日この頃ですが、毎日、校内やグラウンドには子どもたちの元気な声が響いています。さて、10月30日は令和3年度運動会が行われます。表現、個人・団体競技の種目等を1・3・6年と2・4・5年の2ブロックで行うことで、異学年との交流を深めたり、上級生としての意識を高めたり、上級生への憧れや次の学年への期待の気持ちを育んだりすることをめざして取り組んでいます。当日は、感染対策にご協力いただくとともに、子どもたちへの温かい拍手での応援をよろしくをお願いします。